

よこひな通信



年度初め号 令和7年4月25日発行

こうちょう けんもく しげのり
校長 見目 茂則



4月に、伊勢原支援学校から新たに本校に着任いたしました、校長の見目茂則です。

よろしくお願いします。

令和7年度は、生徒125名、職員76名でスタートしています。4月7日（月曜日）の入学式

は、満開のソメイヨシノのもと、40名の新入生・保護者を温かく迎えることができました。

新入生および生徒会長による言葉では、凛々しい姿でそれぞれ発表しており、ふたりの頼もしさを感ずるとともに、本校の将来性も感じ取りました。

さて、昨年度、今後4年間の学校教育計画を策定し、今年度はその取組の2年目となります。

4年間の目標・主な方策の一つに、「生徒自らの安全確保につながる意識の育成」、「実際に

想定した防災防犯等訓練の実践」があります。旧日向山小学校を受け継いでいることもあり、

本校は福祉避難所ではなく、地域防災拠点として近隣自治会・町内会の震災時避難場所として

位置づけられています。そのため、学校の敷地内には、多くの防災備蓄庫(地元の自治会や横浜市)

や、災害時の飲料水用に災害用地下給水タンクが設置されているほか、災害時下水道直結式

仮設トイレが建てられる構造となっています。こうした状況もあり、4年間の目標にも「地域

等の連携・協働」を掲げ、8月には、地域防災をテーマとした公開研修講座を、近隣の関係団体

と連携して実施する予定です。

近年の自然災害状況を顧みれば、本校が果たす役割の重要性をひしひしと感じます。また、

本校の施設面だけではなく、人材面として、本校の生徒にも地域に果たせる役割は必ずあると

思っています。今後は、防災教育の充実も積極的に進めていきたいと考えています。

